

機関紙

はぐ



平成23年 創刊号

発行：奈良市ボランティア
インフォメーションセンター

はぐくみセンター外観



ボランティアインフォメーションセンター

「機関紙HUG」の由来
ボランティアは人と人のふれあいです。
より深く関わりたいという想いで、HUG
(抱きしめる)という名前にしました。
愛情表現であるHUGは当センターの、ボ
ランティアを育み・発展させていこうとい
う気持ちをあらわしています。
これから皆様に愛され、にぎわうセンター
をめざし、市民や活動団体の方々を温かく
お迎えいたします。

奈良市ボランティアインフォメーションセンター 設立趣旨

社会状況の変化により多様化した市民ニーズに的確に
応えるためには、行政だけの力では限界があり、さまざ
まな活動をされている市民の方々と協働しながら、まち
づくりを行う必要があると思われま。

また、社会貢献や公益活動を通じて、生きがいを発見
し、自己実現を追求する市民の方々も増えてきており、
福祉分野だけでなく、まちづくり、教育分野などさまざ
まな分野において、自主的な活動を展開されておられま
す。

このセンターは、そのような市民の公益活動を支援す
るとともに、それらの活動を活性化させるための拠点と
して、また、まちづくりを行うさまざまな主体を繋いだ
り、他団体や行政との積極的な協働をコーディネートす
るために設置しました。

駅前という立地条件と、複合施設であるという利点か
ら、今までボランティア等に触れる機会の少なかった層
との接点を生み出し、それによりボランティア活動への
関心を深め、担い手の広がりをめざします。

情報収集・発信や活動の支援!!!

各種会議室や交流の場の提供などを行います。

■奈良市ボランティアインフォメーションセンターの機能

- つなぐ** ボランティアを希望する人と、ボランティアを
募集する団体の橋渡しを行います。
- 支える** ボランティアについての悩みを持つ人や、団体
の運営をサポートします。
- 集める・知らせる** NPOなどの団体の情報や、活動に役立つ情報、
ボランティアのニーズについての情報を集め、
お知らせします。
- 集う** 活動に関する会議や打ち合わせ、作業などがで
きます。

平成23年度 センターご利用状況 (7月末日 現在)	
登録団体数	86団体
会議室利用件数(延べ)	309件
利用人数(延べ)	4,945名

ニーズを意識した支援を

～センターの支援について～

開所して4か月が経過しました。様々な目的を持った利用者や利用団体のニーズにスタッフが対応しています。

ボランティア、NPO についての相談に対して、情報提供や助言、連絡調整などの支援をしています。「子どもを対象としたボランティアをしたい」「福祉関係のボランティアを探している」「定年退職をしたのでボランティアにチャレンジしてみたい」「団体で応募できる助成金の情報が知りたい」「NPOを立ち上げたいが、どうすればよいか」など相談内容は多岐にわたりますので、それらに適切に対処できるよう、スタッフはコーディネート技術の向上に努めています。

活動に役立つ情報を得ることは、市民公益活動に関わる人や団体にとって大切なことです。センター

では、団体の案内チラシ・パンフレットや東日本大震災のボランティア募集・活動状況、助成金の募集状況に加え、「ボランティアって何？」という基本的な内容などの掲示や、ボランティア関係の映画を定期的上映するなどして情報発信に努めています。

また、活動の活性化につながるように、会議室や交流コーナーなどの場所の提供や、印刷機、紙折り機、作業用パソコンなど機器による支援も行っており、会議や打ち合わせ、簡単な作業、機関紙やチラシ・パンフレット・垂れ幕の作成などに活用されています。

市民公益活動に取り組む人や団体にとって本当に必要な支援とは何なのかを問い続け、よりよい支援が提供できるよう努力を重ねていきたいと考えています。



○団体登録のご案内

- ・ ボランティアインフォメーションセンターの、会議室や大小ロッカー及びメールボックス利用を希望される団体（市民公益活動）は、センターへの団体登録が必要になります。
- ・ センター登録には、登録の条件や利用上の注意等をご理解いただいた上で、所定の用紙に必要事項をご記入いただきます。（※印鑑は必要ありません。）
- ・ 提出いただく書類は、1. 登録用紙 2. 団体規約 3. 名簿です。
- ・ 必ずセンターの窓口で手続きをお願いします。（※郵送やFAXでの受付は致しません。）

コラム

ばんりいっくう

「万里一空」

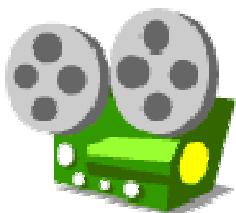
「万里一空」とは「どこまで行っても、空は一つ」。宮本武蔵の五輪書の兵法の心得にある言葉ですが、転じて「心を定めて、目標を見失わずに励む」という意味にも解釈されています。

機関紙「HUG」創刊にあたり、「万里一空」をコラムの名前とし、次号よりリレー式でコーディネーターが書き綴っていきたいと思います。

どうぞ、お楽しみに

映画会のお知らせ

交流コーナーで、映画会を定期的を開催していません。詳しくは、ボランティアインフォメーションセンター窓口までお問い合わせください。



コーディネーター・職員の紹介



コーディネーター
菱田 幸夫

退職後の方が社会貢献、健康増進、生きがい作りに役立つボランティア活動に参加しやすい様に支援したいと思っています。ボランティア活動に役立つ上映会を定期的で開催し、社会へのさまざまな取り組み方を紹介いたします。まだボランティアをしたことがない人を対象に、取り組み方から、体験の仕方についての入門講座を企画しております。これらの活動を通じて人生の幸せさがしのお手伝いをさせていただきますしたいと思います。



コーディネーター
桧山 恵美子

公益法人で生涯学習に関する事業の企画と、子どもへの暴力防止のNPO活動にそれぞれ15年、16年携わってきました。モットーは「だめでもともと」です。ボランティア活動やNPO活動をされている皆様方は、ご自身のミッションや夢の実現へむけて日々行動されていることだと思います。そんな貴重なアクションが、たくさんの人々に届き、変化や成果を通して達成感が得られ、それが次の活力となるような、よい循環が生まれますよう、お手伝いしたいです。



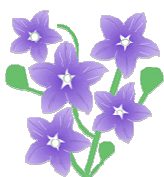
コーディネーター
佐藤 智子

“ボランティア”の方々に通じている思いってなんでしょう？「自分にできることで 誰かの役にたきたい」端的にはこんなことでしょうか。自分らしい自分で ひと とつながること。これからのまち創りや個人人の生き方を考えるキーワードかなぁと思います。〈住みよい まち、未来づくりの役にたきたい〉 という思いを支えるお役にたきたいです。個人的には絵本やストーリーテリング、環境のことのボランティアを細く細く、20年くらい（！）続けています。



コーディネーター
上本 悟実

大阪市内で、地域コミュニティ作りの仕事を5年していました。東日本大震災を機に地元奈良に帰ってきました。ボランティアの橋渡し役として、今までの経験を生かし、奈良が未来へ向けて発展していきますように尽力させていただきたいと思っています。私の近所の方は、万年青年クラブなど活発に活動されています。市民の目線に立った活動を大切にしていきたいと思っています。まだまだボランティアは未知の分野ですが、よろしくお願いたします。



コーディネーター
丸山 智史

福祉分野で障がい者を支援する仕事をしていました。社会的に弱い立場にある人たちの生活や尊厳を守るには、制度やサービスに頼るだけでは不十分です。ボランティアやNPOなど市民のみなさんによる主体的な力があってこそ、誰もがこころ豊かに生きられる社会になるのではないでしょうか。ボランティアコーディネートに相談業務の経験を活かして、皆さんの想いや歩みをサポートできるように努めます。

4月の異動でボランティアインフォメーションセンター運営の担当をさせていただくことになりました。これまでは土木関係の部署だったことから、時には戸惑うこともあります。その分非常にやりがいがあるとも言えます。当センターもオープンから早数ヶ月が経ちましたが、これからも市民のみなさまや各団体の方々のご指導を頂きながら、市民公益活動のさらなる活性化を目指して頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

職員 北谷 幸彦



今年4月の異動で観光の部署からボランティアインフォメーションセンター運営の担当をさせていただくことになりました。オープン当初は、施設運営について整備していくことが業務の中心でしたが、これからは、センターの機能を構築し、充実させていくことを目標に頑張りたいと思います。以前の部署で接する機会の多かった観光ボランティアの方々やまちづくり団体とのつながりを大切にしながら、市のまちづくりが活発に進むようボランティアの方々を援助していきたいですね。

職員 太田垣 裕輔

●あなたのお時間とお力を、ボランティア活動に活かしませんか？

奈良市ボランティアインフォメーションセンターでは、ボランティアを募集したい団体と個人の橋渡しをし、お互いの活性化のためにお役に立ちたいと思っています。ご希望の方は申込書（情報コーナーに設置）にご記入いただき、センター窓口でお気軽にご相談下さい。



●「ボランティアって何？」 3本の柱

自主性・自発性

「自分のやりたいことを、自分で決めてする」いいかえれば「人に指示されてするものではなく、自分のことは自分で責任をもつ」ことでもあります。



社会性・公益性

ボランティア精神って、つまり「世のため 人のため」。だけど“地域や社会をよくしていきたい”思っていて、結局、自分のために(も)返ってくることでよね。

無償性^{*}・非営利性

お金に換算できないものがある！ということ。「ありがとう」の一言、「仲良くなれた」の実感、「それは大事なシゴト」っていうリスペクト etc.・・・たくさんの元気の素！

※無償あるいは有償ボランティアの活動として、交通費や実費弁償等あるいはごく少額の報酬などは認められている場合もあります。

●東日本大震災ボランティア・トピックス

7月9日(土)市職員やDMAT(災害派遣医療チーム)の方々等の被災地支援活動報告会がありました。その中で奈良市災害支援ボランティアとして、4月から5月にかけて、活動されたボランティアコーディネーターさんや、市民100名の代表としてボランティアさん3人からの発表がありました。

「ボランティアバス」は気軽に行けて現地に迷惑をかけない注目のバス。現地ではザコ寝で親睦が深まったようで、一緒に「ボランティアバス」に乗ったクルーは、驚くほどの団結力の強さと明るさだったそうです。また、ガレキの片づけや泥だしが主な仕事でしたが、玄関先のガレキの下から、大量の魚。

家屋の中の荷物の中には未だに海水が溜まっているものも多くて、ここまで海水につかっていたんだということをリアルに感じられたそうです。

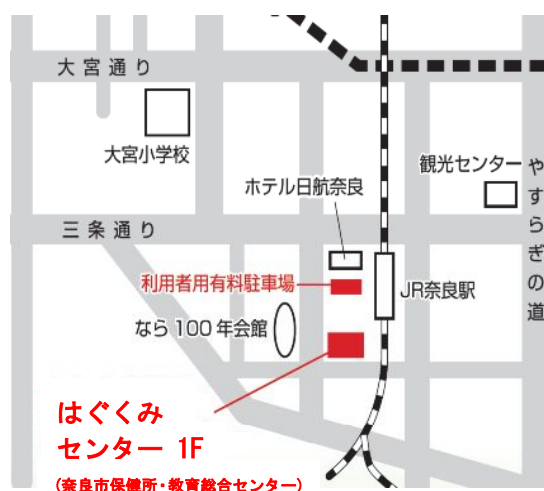
3日間で何ができるんだろうと思う中、家の玄関前に車が横たわり、住民の方が困っておられたところを10人以上で持ち上げて外に出せた時、「やっぱり人の力ですよ。」「人の力ってすごいですよね。」って言って下さったことに感動されたそうです。

「4泊5日の充実感。でもこれは自己満足？」「でも続くと意味あるものになる！！のではと思っている」との言葉が特に印象的でした。

あとがき（創刊号に寄せて）

3月11日、東日本大震災があり、その後、奈良市ボランティアインフォメーションセンターが4月1日にオープンしました。こんな幕開けは誰も予測しなかったことです。この施設への期待と使命感を感じずにはおれません。

これからの時代をみなさんとともに考えていきたいと思えます。やさしさあふれるセンターになりますよう職員一同頑張ってます。



ご連絡・お問い合わせは・・・

〒 630-8122

奈良市三条本町13番1号

はぐくみセンター（奈良市保健所・教育総合センター）1階
奈良市ボランティアインフォメーションセンター

TEL : 0742-93-8435

FAX : 0742-34-2336

Mail : kyoudousuishin@city.nara.lg.jp

